

六甲山の災害展

六甲治山事務所



- とき 平成13年6月1日～7月1日
- ところ 阪神・淡路大震災復興支援館
- 主催 阪神・淡路大震災復興支援館・国土交通省六甲砂防工事事務所、
兵庫県治山課・砂防課・六甲治山事務所

当六甲山の災害展は、平成9年に現宝塚農林振興事務所の山本宗生氏から昭和13年災害の被害状況をあらわす多数の貴重なスケッチの寄付を受けたのを契機に、毎年6月の梅雨時期にそれらスケッチに加え、過去の六甲山の大災害の写真等を展示し広く県民の方々に見ていただくことで、災害の恐ろしさの再認識と大雨に対する防災意識を高めていただくことを目的として平成9年より毎年行っているものです。

また、今年度からは新たに治山林道協会から「土石流の模型装置」をお借りして、土石流実験を行い、土石流の恐ろしさや治山事業の目的と効果を目に見える形で説明することができ、約1ヶ月の開催期間中に8000名以上の入場者があるなど県民の方々からもわかりやすいと好評でした。

災害展開催前は、模擬実験の説明方法や人がどれ位集まってくるのか不安な面がありましたが、模擬実験を始めると自然に人が集まり実験が終わると必ず治山ダムが満砂になった後についての対応方法等に質問が必ず寄せられるなど、関心の高さに驚かされました。

来年度以降は、開催場所の関係や展示内容等について色々調整が必要であるかと思われすが、県民の方々に向けてのなんらかの形で防災意識を高める取り組みは今後も必要ではないかと思われます。

